

日産先進衝突実験場



追浜に完成した日産先進衝突実験場

2005年8月、追浜地区に日産先進衝突実験場が完成しました。

この日産先進衝突実験場では、日産の安全コンセプトであるセーフティ・シールド*に基づき、交通事故ゼロ（ビジョンゼロ）を実現する一翼を担うために導入された最新鋭の実験施設です。この実験場の特徴は、数々の事故事例の分析に基づいて、現実の世の中（リアルワールド）で起きている様々な事故に、より近い状況を再現できることにあります。

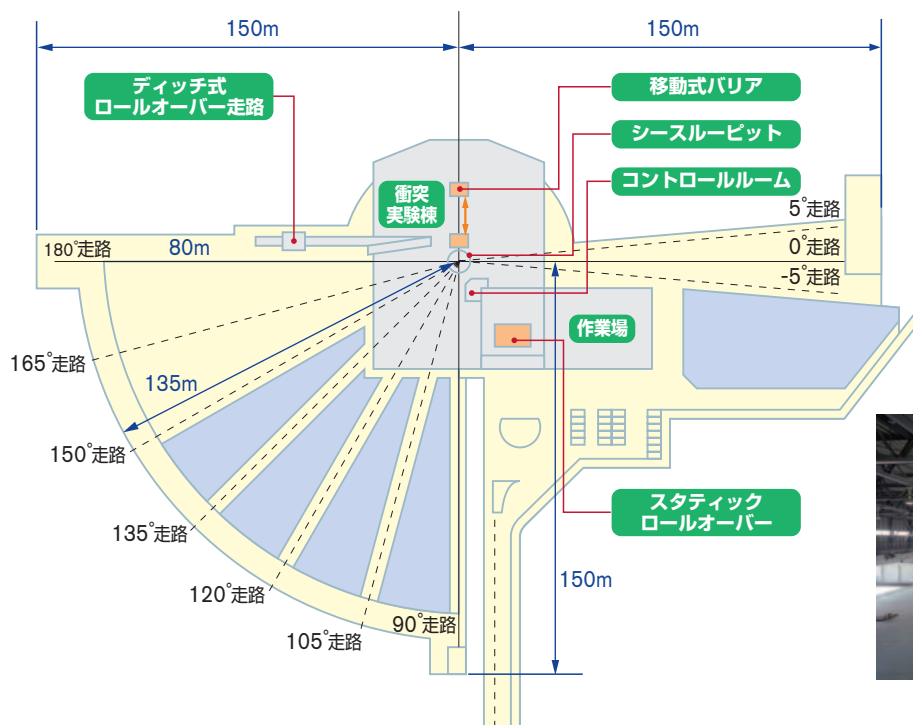
具体的には、車両対車両の衝突再現実験において、最高120km/h同士での正面衝突や側面衝突の他、185°から5°まで最小5°間隔で角度を変えた衝突が可能です。

さらには、4種類のロールオーバー（横転）試験も可能であり、より多彩な事故形態に対応できるように開発を進めていきます。

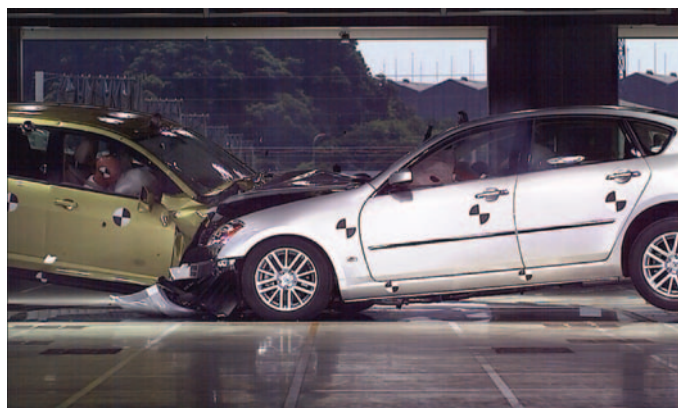
* SAFETY SHIELD 「クルマが人を守るという考え方」

通常運転から衝突後まで、クルマが状況に応じて様々なバリア機能を働かせ、少しでも危険に近づけないようサポートし続ける。

実験場概要図



衝突実験棟内部



実験能力

最大衝突速度 (車両質量)	2台牽引時：120km/h (2,000kg) 1台牽引時：140km/h (3,000kg) 80km/h (9,000kg)
衝突角度 (2台牽引)	5,10,15,30,45,60,75° 85~180° (5°間隔)
異速度衝突 (2台牽引)	1 : 1.5, 1 : 2, 1 : 3
バリア衝突試験	移動式バリア
ロールオーバー試験	4種類 トップオーバー コークスクリュー ディッチ FMVSS208ドリー式